

平成27年度決算(案) 説明資料

相互会社としての使命と実践	P1	健全性の状況	P8
中期経営計画(平成28年度～30年度)	P2	資産運用の概況	P9～P10
平成27年度決算(案)のポイント	P3	オンバランスの自己資本強化と継続的なリスク・コントロール	P11
保険業績の状況(2社合算)	P4～P5	平成27年度決算(案)にもとづく社員配当金	P12
保険料等収入の状況(2社合算)	P6	マイナス金利下における収益管理とリスク管理	P13
基礎利益の状況(2社合算)	P7	(ご参考)主要業績	P14～P17

平成28年5月26日

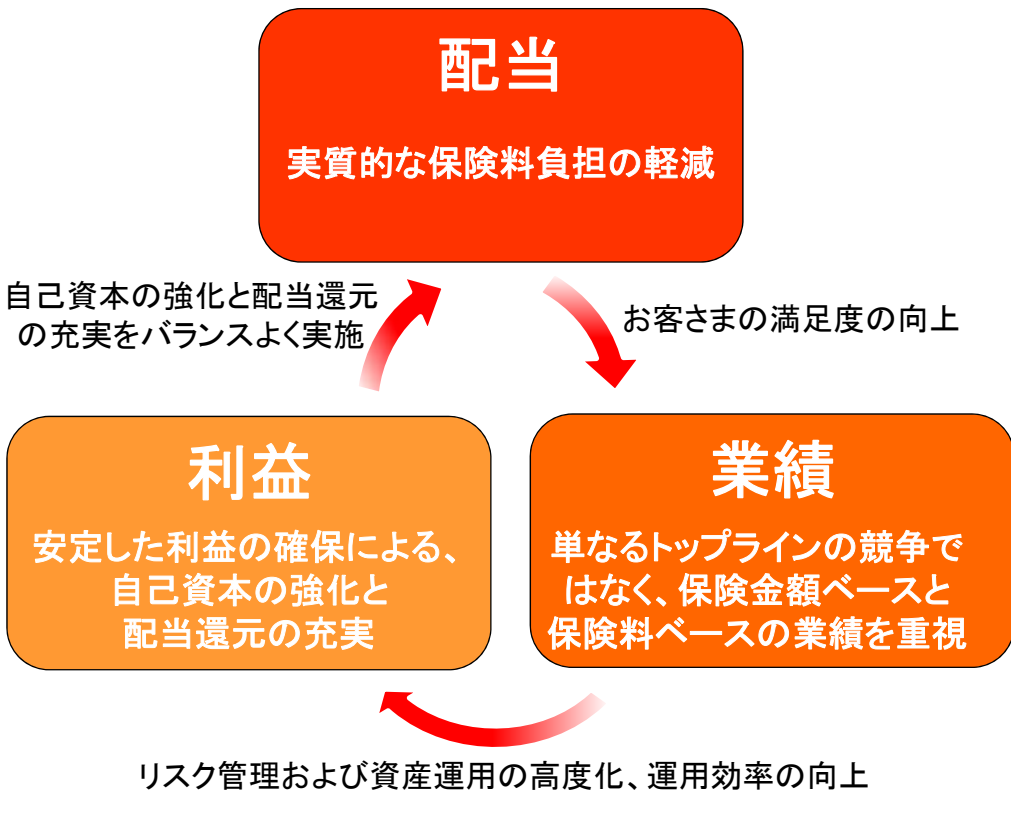
富国生命保険相互会社

すてきな未来応援します

フコク生命

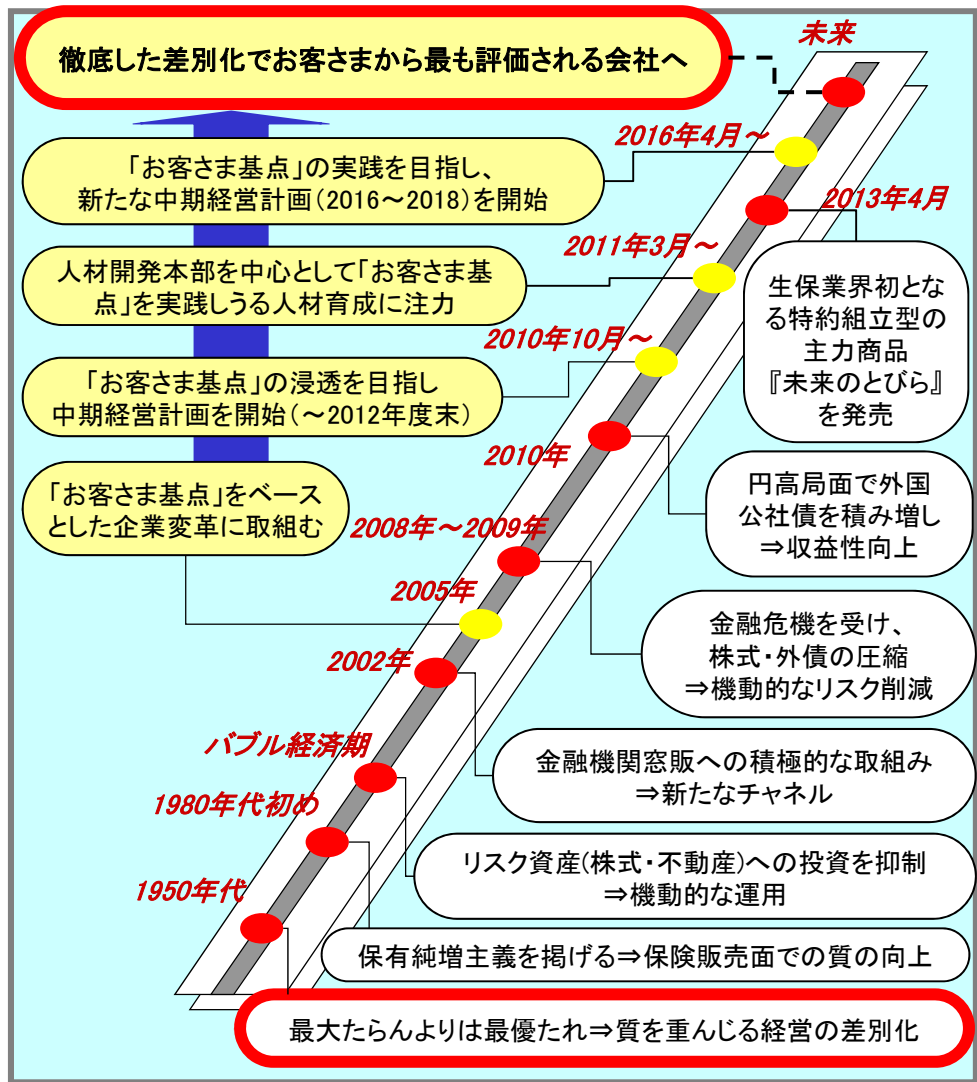
相互会社としての使命と実践

相互会社としての使命



安定した利益を確保し、配当還元の充実を通じてご契約者の実質的な保険料負担の軽減を図ることが相互会社としての使命であり、保険会社としていかなる時にも保険金等を確実にお支払いすることが最も重要な責務であると考えております。

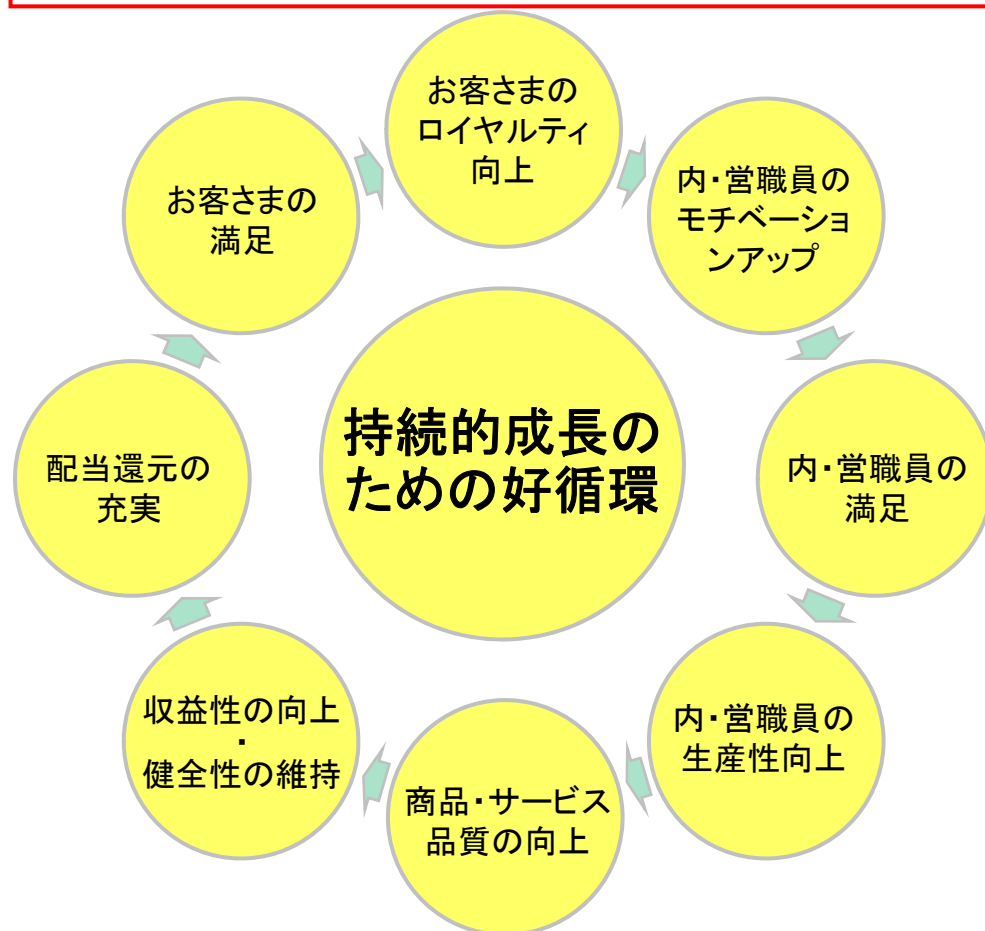
経営の差別化の歴史と「お客さま基点」に向けた取り組み



中期経営計画(平成28年度～30年度)

中期経営計画のビジョン

徹底した差別化でお客さまから最も評価される会社となる



お客さま満足度の向上

営業職員チャネルの強化

経営基盤構築

差別化を実践できる人づくり

- 中期経営計画(平成28年度～30年度)においては、ビジョンに近づくために、特に最重要プロセスとして「お客さま満足度の向上」に取り組む。

平成27年度決算(案)のポイント

新契約高3年連続増加

- ◆ 2社合算の新契約高は、富国生命・フコクしんらい生命共に増加し、前年対比6.4%増加の2兆18億円
- ◆ 新契約高の前年対比増加は3年連続

保有契約年換算保険料の増加

- ◆ 2社合算の保有契約年換算保険料は、富国生命・フコクしんらい生命共に増加し、前年度末比1.9%増加の5,752億円。うち、第三分野の保有契約年換算保険料も前年度末比0.8%増加の1,092億円
- ◆ 富国生命単体の保有契約年換算保険料は10年ぶりに増加

基礎利益は高水準を確保

- ◆ 2社合算の基礎利益は、前年対比1.2%減少の948億円
- ◆ 開示以来最高であった平成26年度に次ぐ水準を確保

4年連続増配

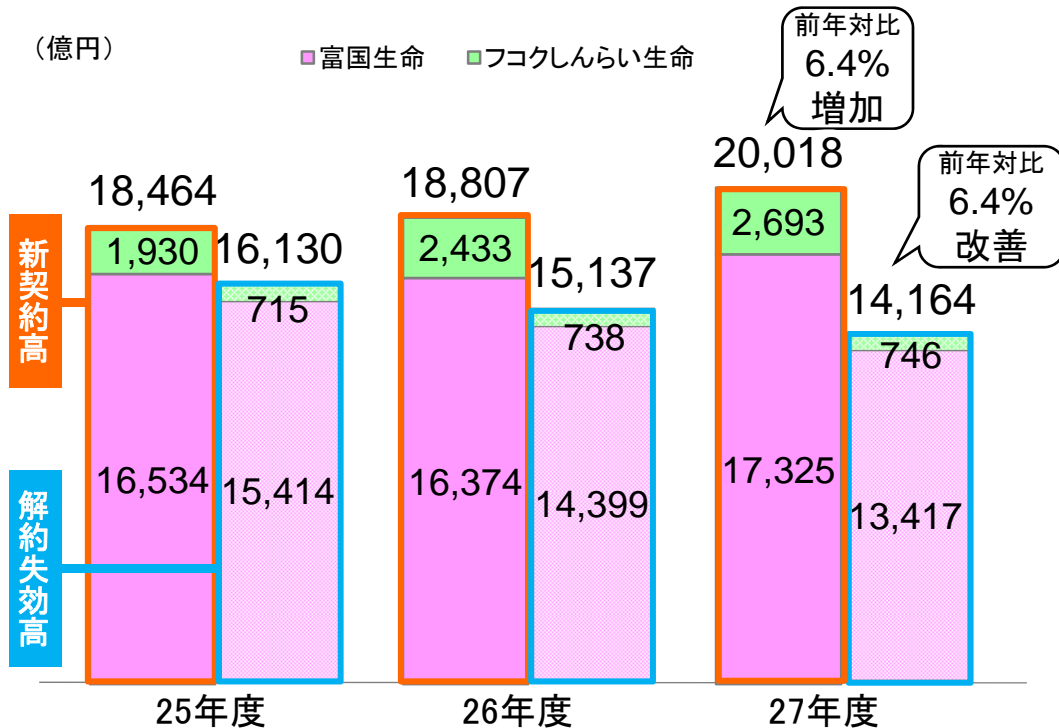
- ◆ お客さまへの配当還元積極的に取り組むこととし、4年連続で増配を実施
- ◆ 今後も配当還元を通じて、お客さまの実質的な保険料負担の軽減を図る

高い健全性を維持

- ◆ 富国生命単体の自己資本は883億円増の6,747億円
- ◆ 連結ソルベンシー・マージン比率は、前年度末比145.8ポイント上昇の1,341.5%となり、過去最高

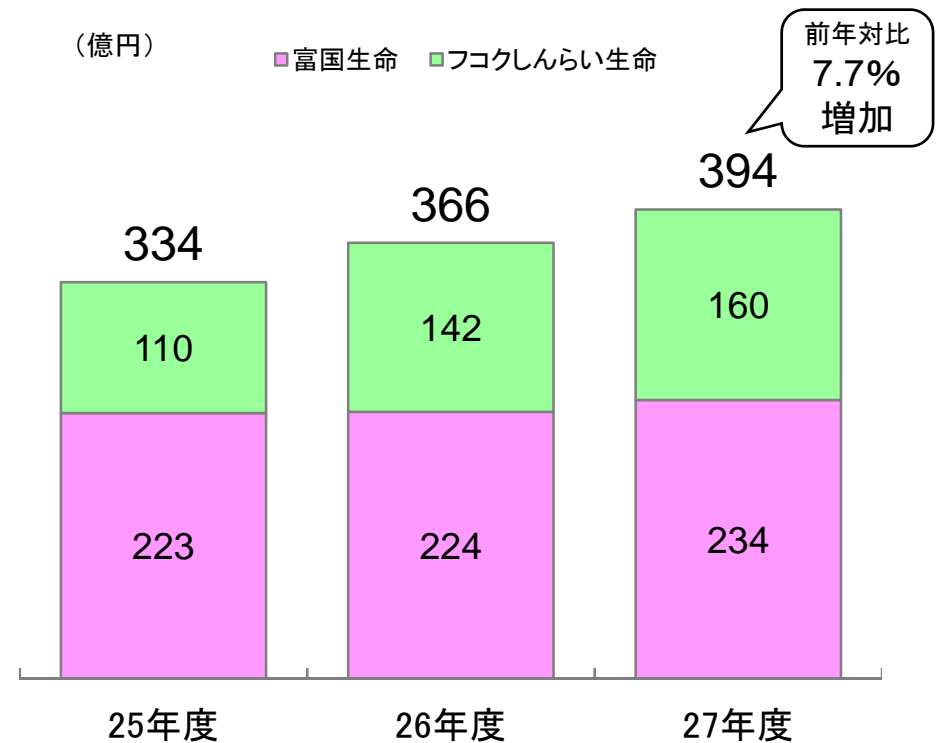
保険業績の状況(2社合算) ～新契約～

新契約高・解約失効高の推移 (富国生命、フコクしんらい生命合算)



※個人保険と個人年金の合計

新契約年換算保険料の推移 (富国生命、フコクしんらい生命合算)

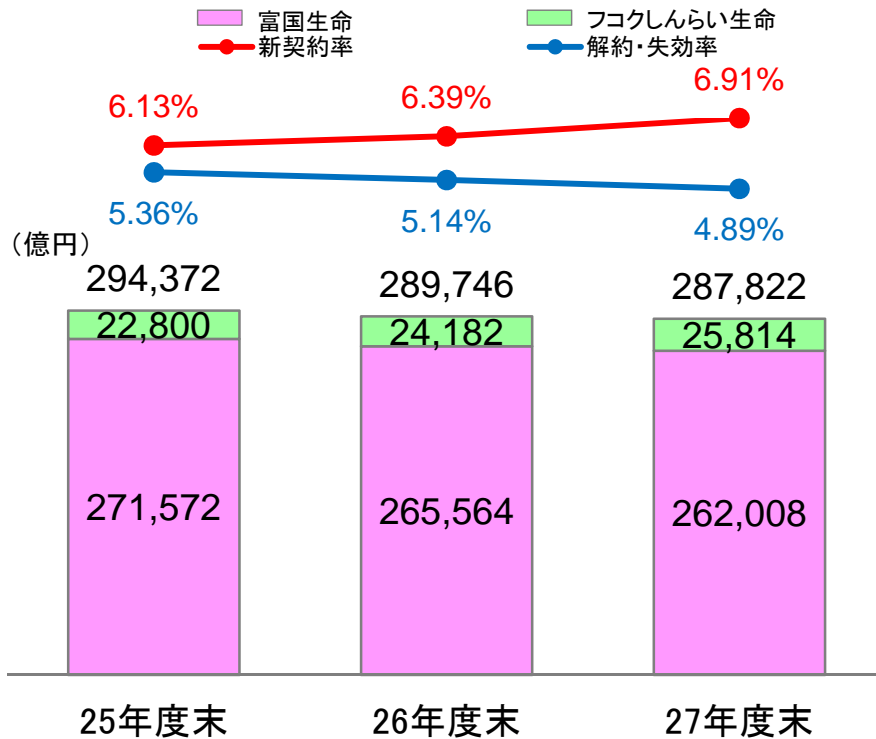


- 新契約高は2つの販売チャネルの効果的な活用が奏功し、3年連続の増加。27年度は富国生命の個人年金保険が好調
- 解約失効高は前年対比6.4%減少し、大きく改善

- 新契約年換算保険料は、フコクしんらい生命の金融機関窓販が増加したことに加え、富国生命での個人年金保険等の貯蓄性商品の販売が好調なことを主な要因として前年対比7.7%増加

保険業績の状況(2社合算) ～保有契約～

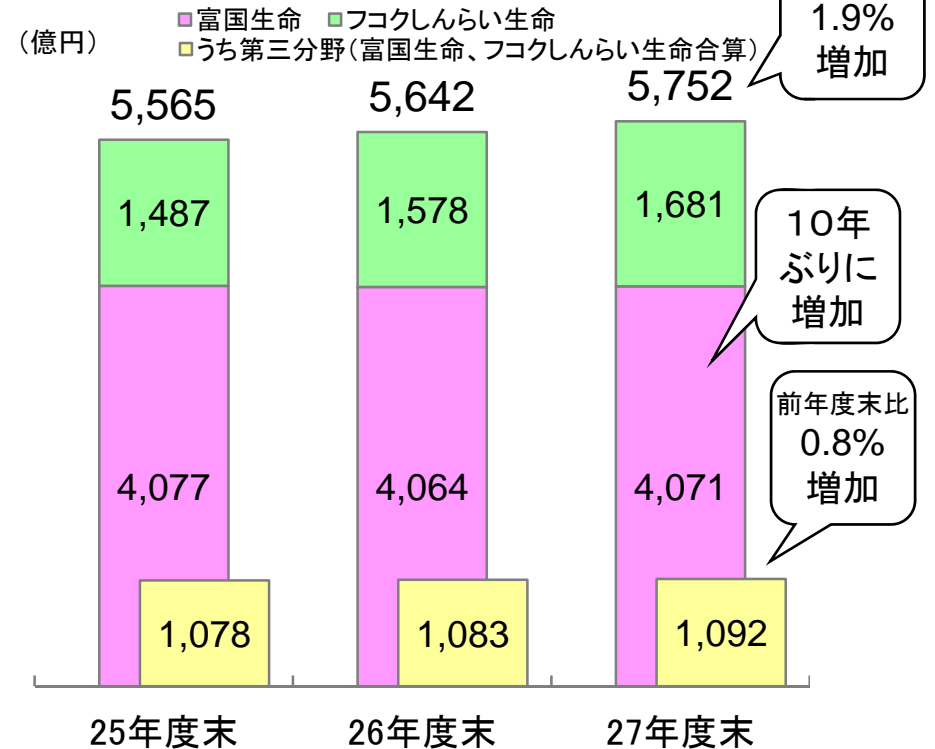
保有契約高の推移 (富国生命、フコクしんらい生命合算)



- 保有契約高の減少幅は縮小(1.6%→0.7%)
- 新契約率(※1)の上昇および解約・失効率(※2)の改善により、保有契約高の反転増加に向けて着実に進展

(※1)新契約率=新契約高/年始保有残高
(※2)解約・失効率=解約失効高/年始保有残高

保有契約年換算保険料の推移 (富国生命、フコクしんらい生命合算)

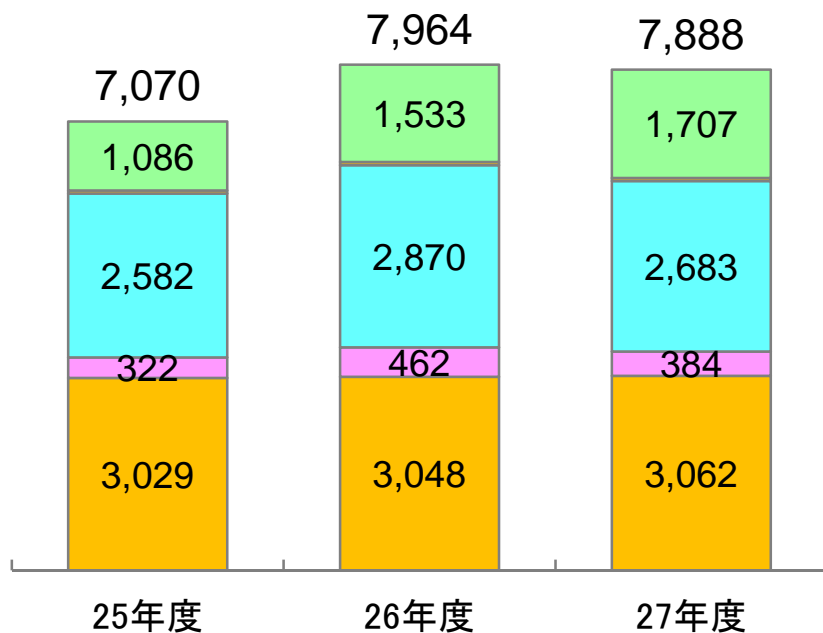


- 保有契約年換算保険料は、富国生命・フコクしんらい生命共に増加し、前年度末比1.9%増加の5,752億円
- うち、第三分野の保有契約年換算保険料も前年度末比0.8%増加の1,092億円

保険料等収入の状況(2社合算) ～保険料等収入・金融機関窓販～

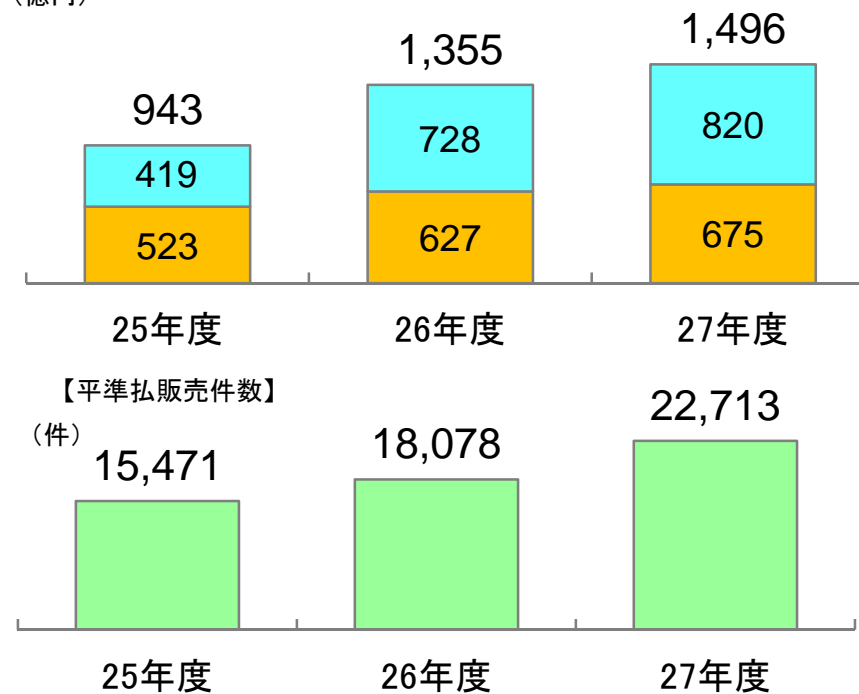
保険料等収入の推移 (富国生命、フコクしんらい生命合算)

■ 個人保険分野(平準払) ■ 個人保険分野(一時払)
■ 団体保険分野 ■ フコクしんらい生命
 (億円)



金融機関による保険販売の状況 (フコクしんらい生命の収入保険料)

【保険種類別販売実績(初回保険料ベース)】
 (億円) ■ 定額年金保険 ■ 一時払終身保険等

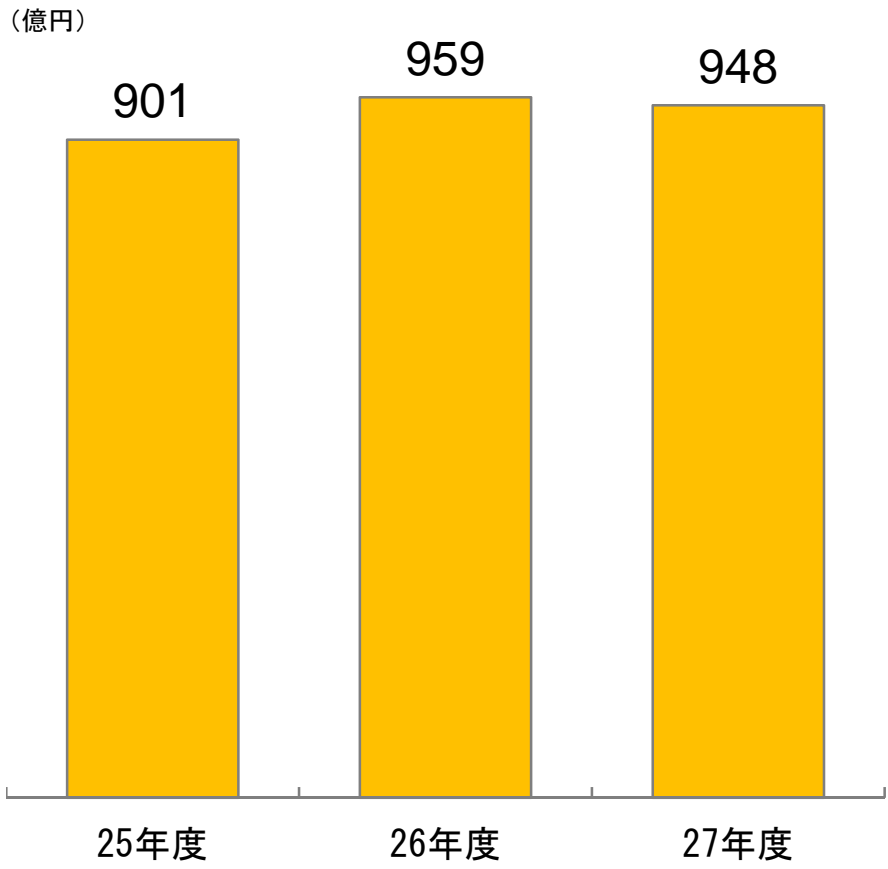


- 保険料等収入は富国生命の団体保険分野の減少を主な要因として前年対比1.0%減少
- 富国生命の個人保険分野(平準払)、フコクしんらい生命は堅調に推移

- 昨年度から引き続き、一時払終身保険の販売が好調に推移(上図)
- 商品ポートフォリオの多様化を図るため、平準払商品の拡販にも注力(下図)

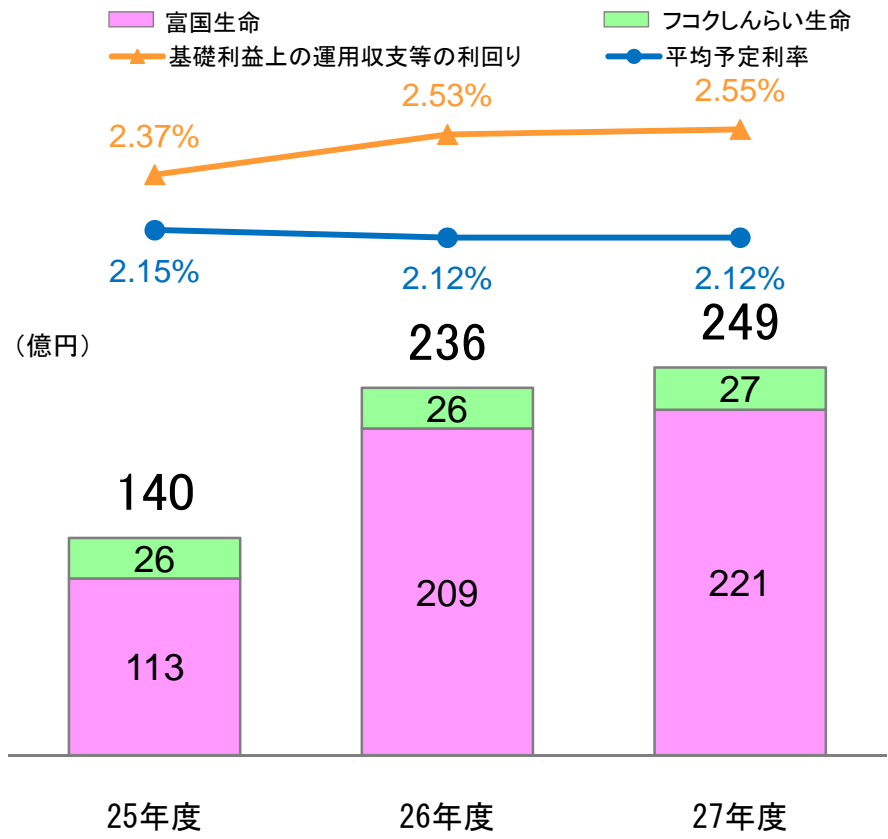
基礎利益の状況(2社合算)

基礎利益の推移



- 基礎利益は開示以来最高であった平成26年度に次ぐ水準を確保

利差の推移

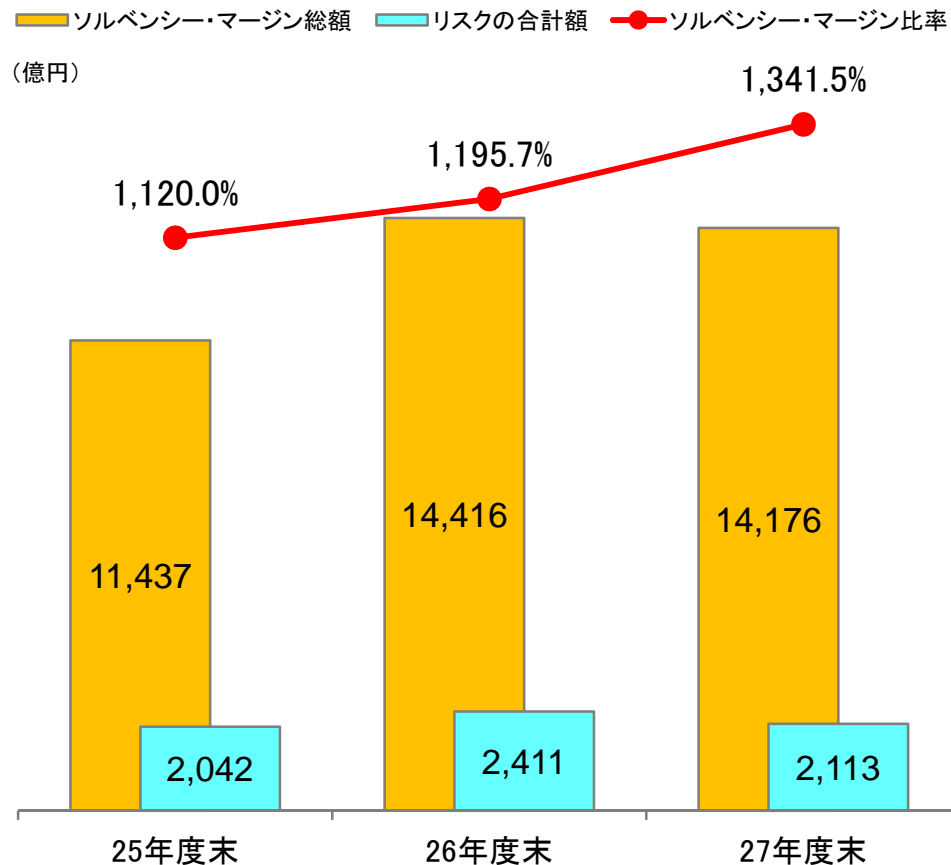


※基礎利益上の運用収支等の利回り、平均予定利率は富国生命単体

- 利差は利息及び配当金等収入の増加などにより、前年対比5.4%増加の249億円と引き続き高い収益性を維持

健全性の状況

ソルベンシー・マージン比率の推移(連結)



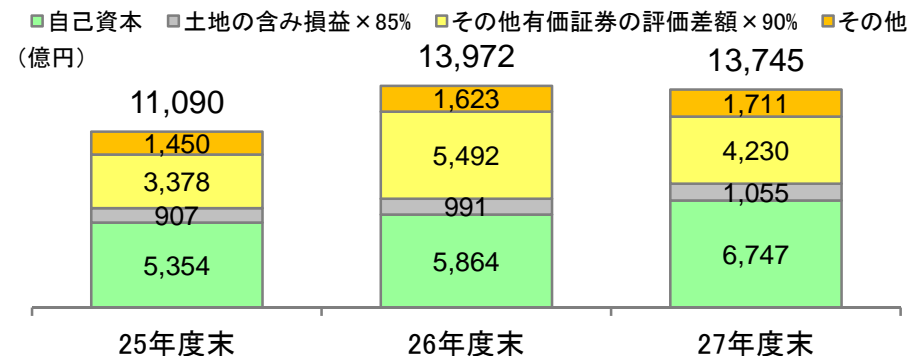
• 連結ソルベンシー・マージン比率は、平成23年度の開示以降、每期着実に向上し、前年度末比145.8ポイント上昇の1,341.5%となり、過去最高

ソルベンシー・マージン比率の推移(単体)

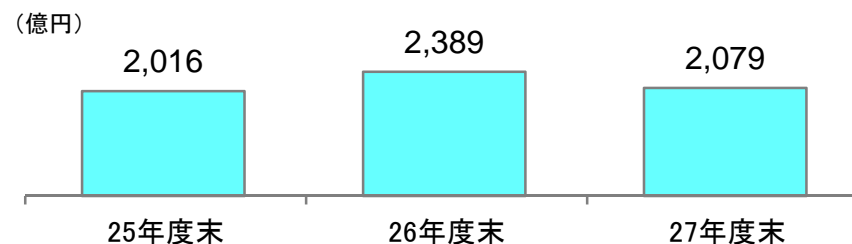
■ソルベンシー・マージン比率

項目	平成25年度末	平成26年度末	平成27年度末
ソルベンシー・マージン比率 $\frac{(A)}{(1/2) \times (B)} \times 100$	1,099.9%	1,169.3%	1,321.8%

■ソルベンシー・マージン総額(A)



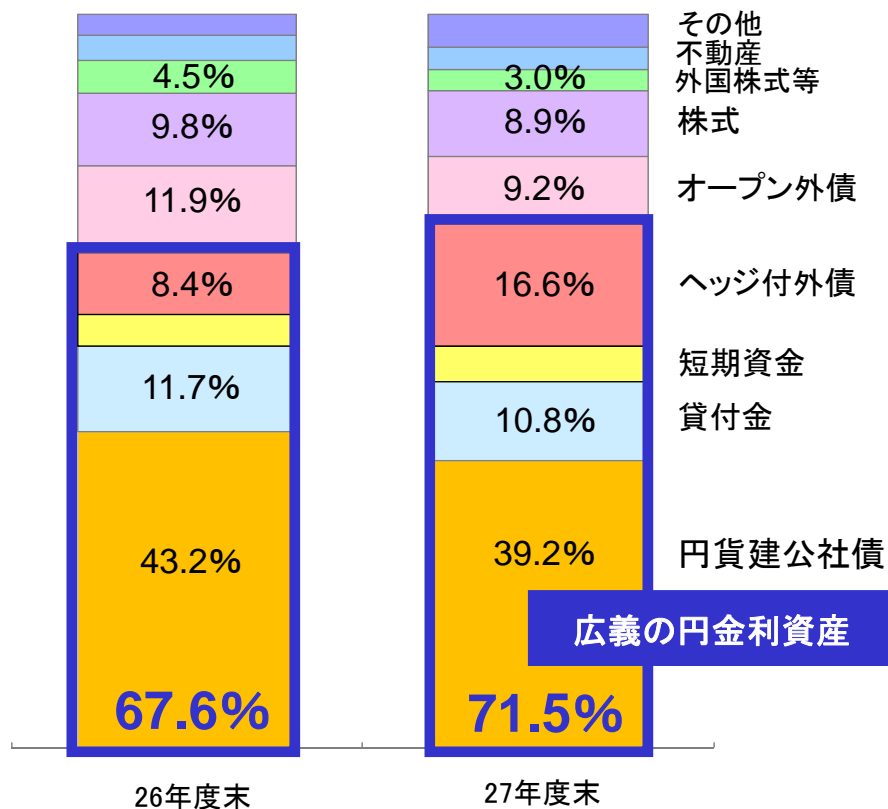
■リスクの合計額(B)



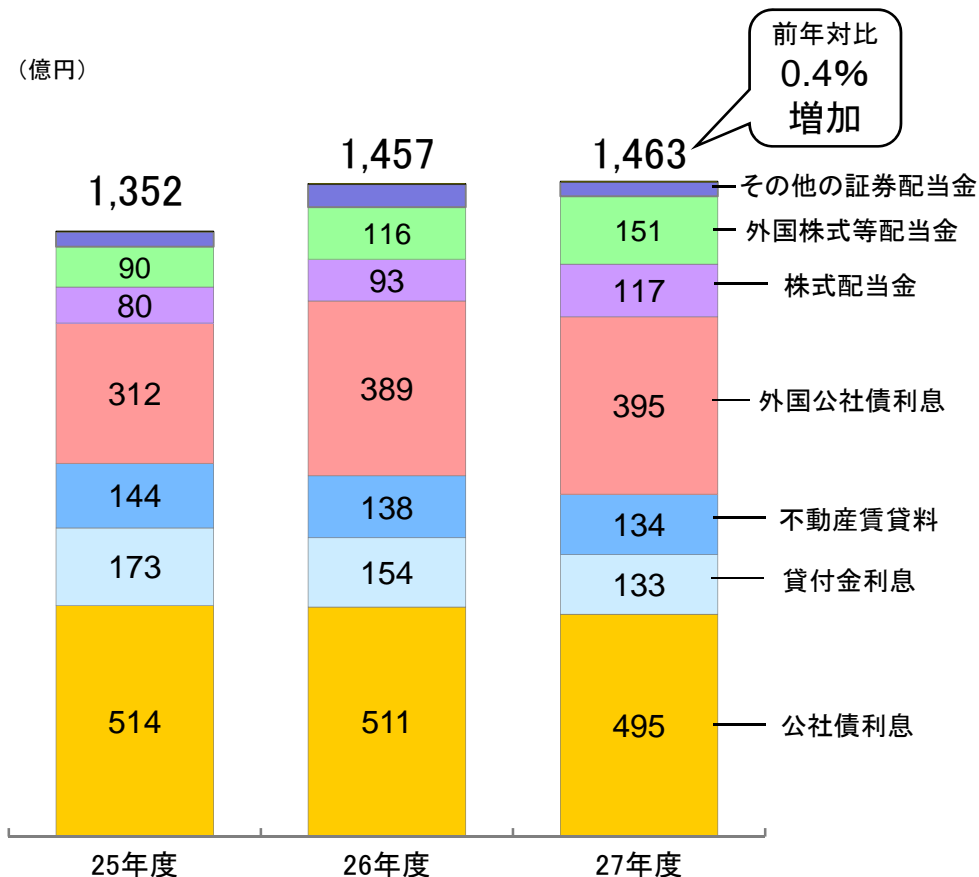
• 富国生命単体のソルベンシー・マージン比率は追加責任準備金の積立、価格変動準備金および危険準備金の積増しなどにより、前年度末比152.5ポイント上昇の1,321.8%

資産運用の概況

一般勘定資産の資産構成比(BSベース)



利息及び配当金等収入※の状況



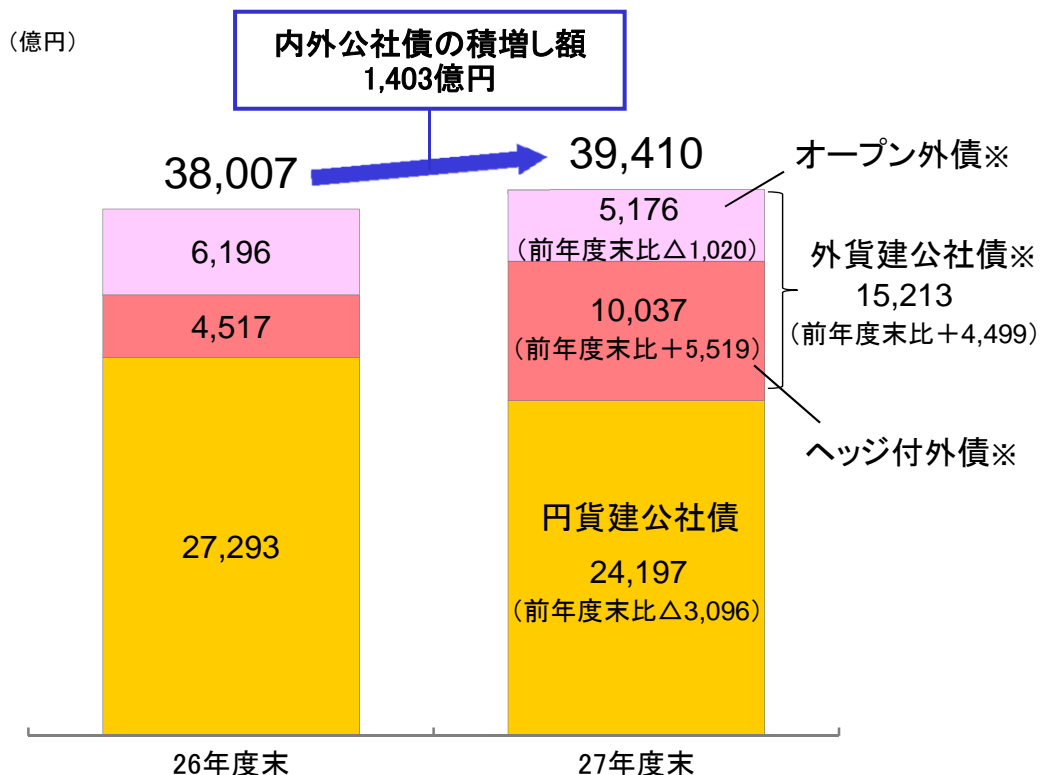
※売買目的有価証券運用益(損)に含まれる利息及び配当金等収入を含む

- 広義の円金利資産の構成比は、7割程度を維持し、引き続き安全性の高いポートフォリオを構築

- 利息及び配当金等収入は、内外株式等の配当金の増加が寄与し、前年度を上回る
- 超低金利や円高など厳しい運用環境となるなか、6期連続で増加

資産運用の概況

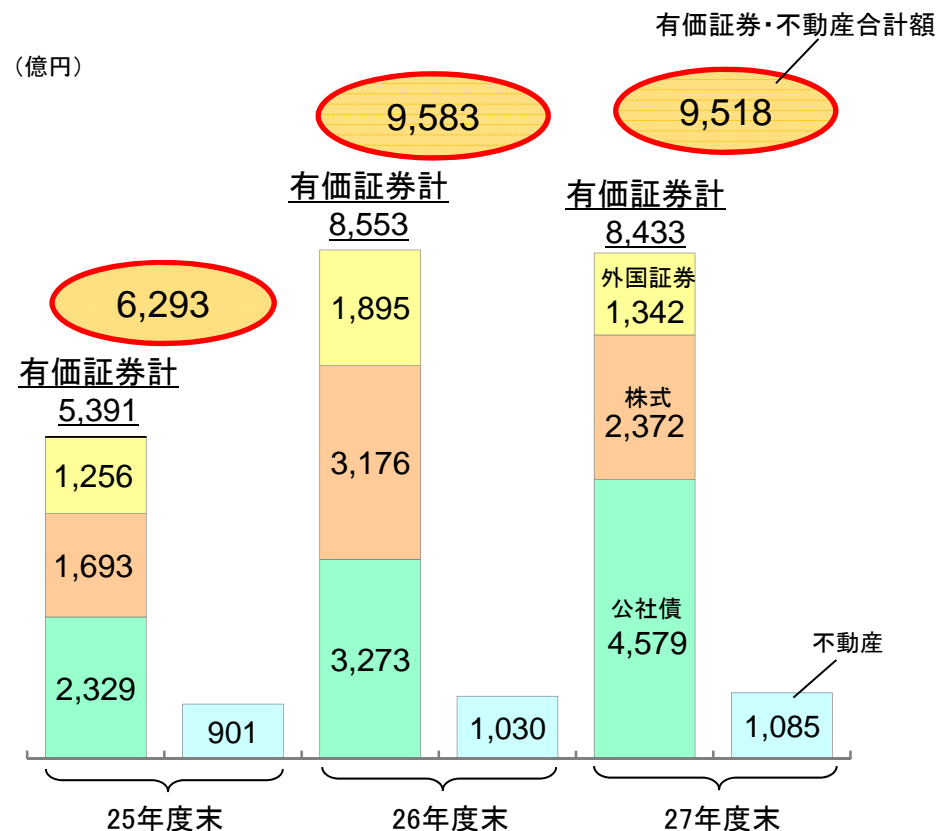
内外公社債(帳簿価額)の内訳



※ 損益計算書に計上した外貨建公社債の評価損益・為替換算損益を控除したもの

- 収益性の維持と将来の国内金利の上昇への備えを目的として、円貨建公社債を大幅に削減し、ヘッジ付外債を積み増し
- 含み益を確定するため、オープン外債の一部をヘッジ付外債に振り替え

含み益の状況



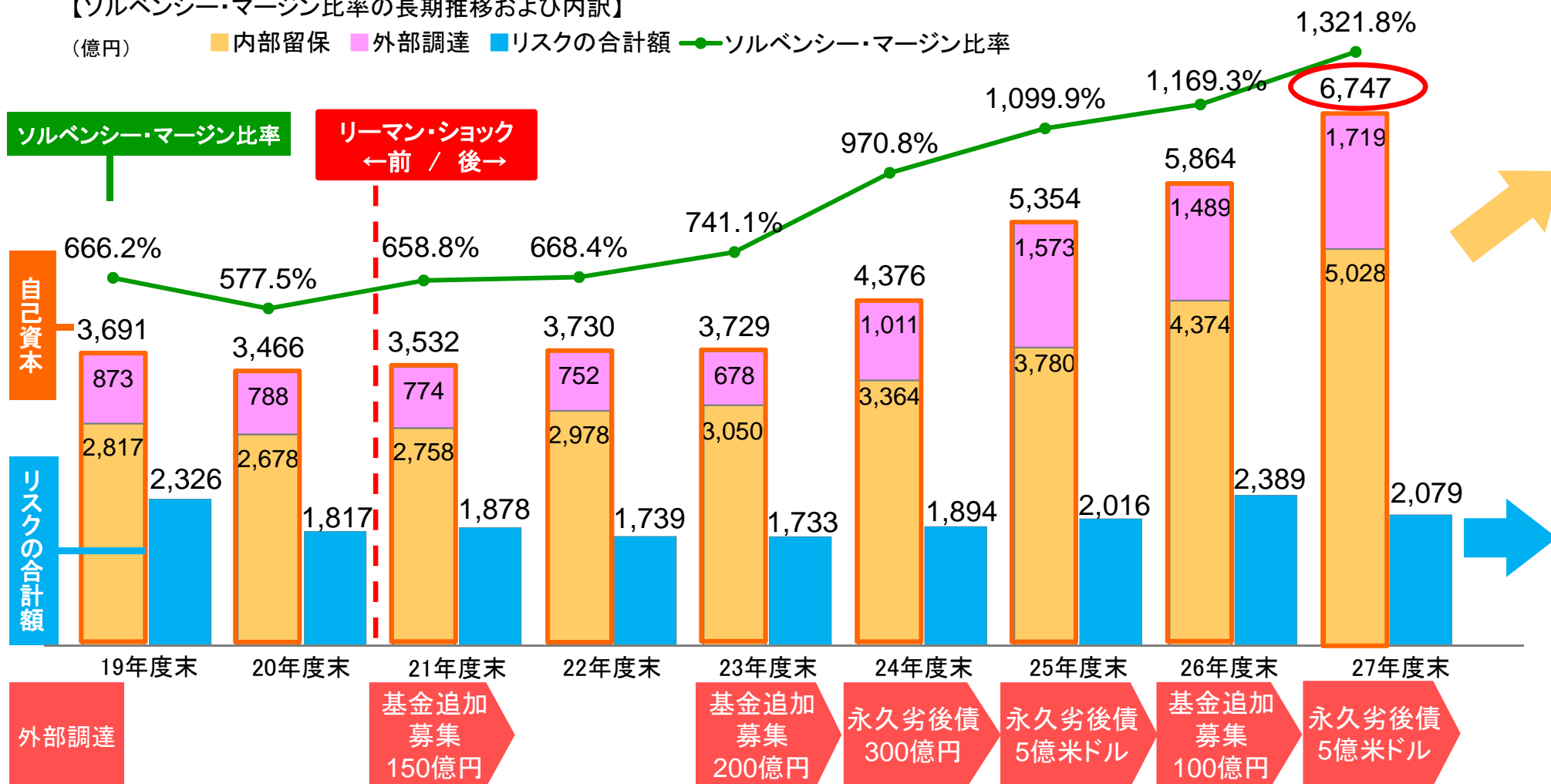
- 有価証券の含み益は、円高や内外株価の下落などにより前年対比減少となるも、8,433億円と引き続き高水準を維持

オンバランスの自己資本強化と継続的なリスク・コントロール (富国生命単体)

【ソルベンシー・マージン比率の長期推移および内訳】

(億円)

■ 内部留保 ■ 外部調達 ■ リスクの合計額 ● ソルベンシー・マージン比率



注) 平成22年度以前のソルベンシー・マージン比率等は、現行基準を基に算出した参考数値

- 自己資本の一層の強化を図ることを目的とし、7月に米ドル建永久劣後特約付社債(5億米ドル)を発行
- 統合的リスク管理(ERM)を着実に推進
- S&Pは当社の保険財務力格付けを「A-」から「A」へ1ノッチ格上げ(平成27年7月)
- 市場の動向に左右されない収益性と健全性の追求

平成27年度決算(案)にもとづく社員配当金

■ 個人保険・個人年金保険

- 増配額は7億円、有配当契約の8割弱(約266万件)に配当金を割当て
- **4年連続の増配**(※1)、4年合計の増配額は**48億円**
- 医療保障契約の危険差配当率と特別配当率を引き上げ

(※1)個人保険・個人年金保険の増配額・・・平成24年度:6億円、平成25年度:19億円、平成26年度:16億円

個人保険・個人年金保険の配当金例

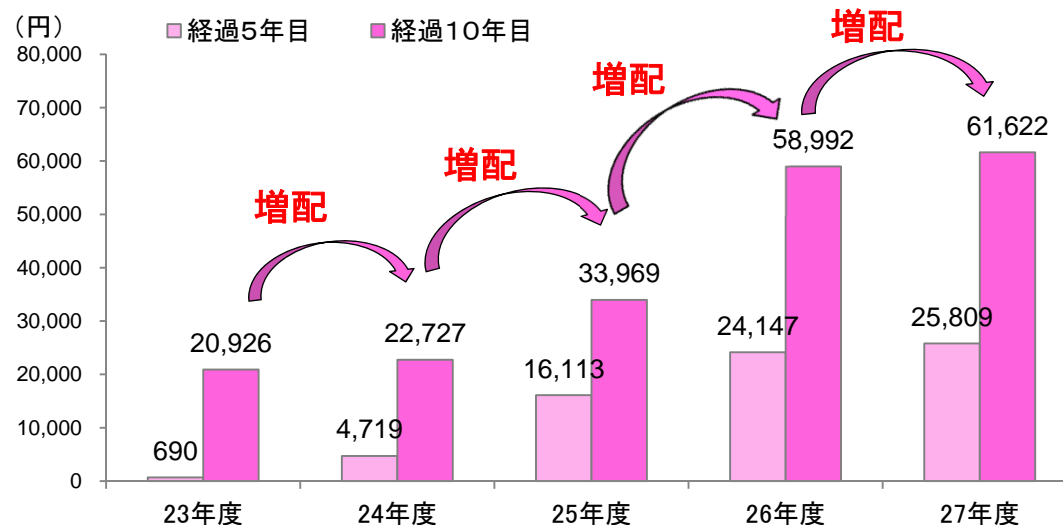
<配当金例>

加入年度 (経過年数)	年換算保険料 (月払保険料)	受取配当金(案)	[増配額]
平成23年度 ^(※2) (5年)	172,824円 (14,402円)	25,809円	[+ 726円]
平成18年度 ^(※3) (10年)	178,704円 (14,892円)	61,622円	[+1,891円]

(※2)医療パック定期付新積立型介護保険(40歳加入、男性、口座振替月払契約、死亡保険金3,000万円、介護保険金50万円、入院日額6,000円の5年ごと配当付医療保険)の例示

(※3)医療パック定期付新積立型介護保険(40歳加入、男性、口座振替月払契約、死亡保険金3,000万円、介護保険金50万円、入院日額6,000円の5年ごと利差配当付医療保険)の例示

配当金例に基づく受取配当金の推移

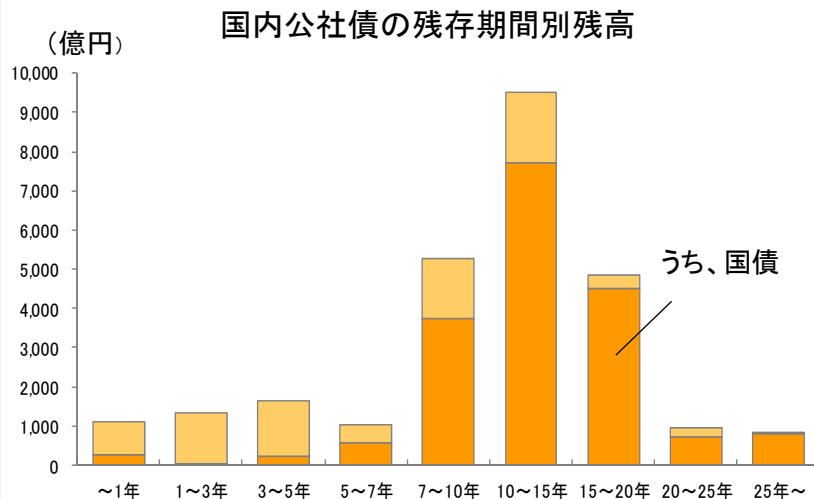


- 相互会社である当社は、お客さまの利益のための経営を創業以来行う。
- 配当還元の充実を通じて、お客さまの実質的な保険料負担の軽減をさらに進める。

マイナス金利下における収益管理とリスク管理

資産運用の状況

- 異次元緩和前に長期の債券に投資
- 含み益がゼロとなる金利水準は、1.57%と良好な水準を維持
- 数年以内に償還を迎える公社債が少なく、当面は概ね現状程度の利回りを維持できる見込み



改善

- 新商品「医療大臣プレミアエイト」の発売
- 一時払商品の販売休止
- 諸準備金の強化
追加責任準備金の積立て、
価格変動準備金および
危険準備金の積増し
- さらなる運用の高度化
ESG投資の拡充、
シンガポール現地法人
での運用業務の開始

リスク・テイクの 戦略目標

- 保険引受を収益の主たる源泉とする
- 資産運用は安全かつ有利を原則とする

頑強な 財務基盤

評価

- 危険差益を安定的に確保
- 当面は、利差益も安定的に確保できるものの中長期的には減少する見通し

商品販売及び 資産運用

- 死亡、医療、介護を中心に販売
- エクイティ資産投資の拡大を再開

- ERMを通じてリスクが顕在化する前に対策を講じることにより、頑強な財務基盤を確保。
- 市場動向に左右されない収益性と健全性を追求し、引き続き、オンバランスの自己資本強化を図る。

(ご参考) 主要業績①

保有契約の状況(富国生命、フコクしんらい生命合算)

個人保険(個人保険+個人年金保険)

保有契約高 (単位: 億円、%)

	平成26年度末		平成27年度末	
		前年度末比		前年度末比
個人保険	246,929	98.2	245,166	99.3
個人年金保険	42,817	99.6	42,655	99.6
保有契約高	289,746	98.4	287,822	99.3

新契約高、解約失効高 (単位: 億円、%)

	平成26年度		平成27年度	
		前年度比		前年度比
個人保険	16,995	100.6	17,749	104.4
個人年金保険	1,812	115.4	2,269	125.2
新契約高	18,807	101.9	20,018	106.4
解約失効高	15,137	93.8	14,164	93.6
(解約失効率)	(5.14%)	△0.22 ポイント	(4.89%)	△0.25 ポイント

保有契約年換算保険料 (単位: 億円、%)

	平成26年度末		平成27年度末	
		前年度末比		前年度末比
個人保険	3,075	101.1	3,143	102.2
個人年金保険	2,567	101.7	2,608	101.6
合計	5,642	101.4	5,752	101.9
うち医療保障・生前給付保障等	1,083	100.5	1,092	100.8

新契約年換算保険料 (単位: 億円、%)

	平成26年度		平成27年度	
		前年度比		前年度比
個人保険	250	107.1	269	107.5
個人年金保険	115	115.4	125	108.3
合計	366	109.6	394	107.7
うち医療保障・生前給付保障等	71	93.3	70	99.9

企業保険(団体保険、団体年金保険)

保有契約高 (単位: 億円、%)

	平成26年度末		平成27年度末	
		前年度末比		前年度末比
団体保険	171,159	100.4	173,428	101.3
団体年金保険	21,232	104.6	21,189	99.8

- ・新契約高(個人保険+個人年金保険)は前年対比6.4%増加
- ・保有契約年換算保険料(個人保険+個人年金保険)は前年度末比1.9%増加、うち医療保障・生前給付保障等は前年度末比0.8%増加
- ・新契約年換算保険料(個人保険+個人年金保険)は前年対比7.7%増加

(ご参考) 主要業績②

保有契約の状況(富国生命単体)

個人保険(個人保険+個人年金保険)

保有契約高 (単位: 億円、%)

	平成26年度末		平成27年度末	
		前年度末比		前年度末比
個人保険	236,846	97.8	234,174	98.9
個人年金保険	28,718	97.4	27,833	96.9
保有契約高	265,564	97.8	262,008	98.7

新契約高、解約失効高 (単位: 億円、%)

	平成26年度		平成27年度	
		前年度比		前年度比
個人保険	15,649	98.0	16,316	104.3
個人年金保険	724	128.3	1,009	139.2
新契約高	16,374	99.0	17,325	105.8
解約失効高	14,399	93.4	13,417	93.2
(解約失効率)	(5.30%)	△0.22 ポイント	(5.05%)	△0.25 ポイント

保有契約年換算保険料 (単位: 億円、%)

	平成26年度末		平成27年度末	
		前年度末比		前年度末比
個人保険	2,736	99.5	2,748	100.4
個人年金保険	1,327	100.0	1,322	99.7
合計	4,064	99.7	4,071	100.2
うち医療保障・生前給付保障等	1,066	100.5	1,075	100.8

新契約年換算保険料 (単位: 億円、%)

	平成26年度		平成27年度	
		前年度比		前年度比
個人保険	192	96.9	200	104.2
個人年金保険	31	128.1	34	107.2
合計	224	100.4	234	104.6
うち医療保障・生前給付保障等	70	93.2	70	100.0

企業保険(団体保険、団体年金保険)

保有契約高 (単位: 億円、%)

	平成26年度末		平成27年度末	
		前年度末比		前年度末比
団体保険	166,780	100.8	169,723	101.8
団体年金保険	21,232	104.6	21,189	99.8

- ・新契約高(個人保険+個人年金保険)は前年対比5.8%増加
- ・保有契約年換算保険料(個人保険+個人年金保険)は前年度末比0.2%増加、うち医療保障・生前給付保障等は前年度末比0.8%増加
- ・新契約年換算保険料(個人保険+個人年金保険)は前年対比4.6%増加

(ご参考) 主要業績③

収支の状況

保険関係収支

(富国生命、フコクしんらい生命合算) (単位: 億円、%)

	平成26年度		平成27年度	
		前年度比		前年度比
保険料等収入	7,964	112.6	7,888	99.0
うち個人保険分野	5,031	113.7	5,142	102.2
うち団体保険分野	2,882	111.1	2,695	93.5

(富国生命単体) (単位: 億円、%)

	平成26年度		平成27年度	
		前年度比		前年度比
保険料等収入	6,431	107.5	6,180	96.1
うち個人保険分野	3,510	104.7	3,447	98.2
うち団体保険分野	2,870	111.1	2,683	93.5
保険金等支払金	4,903	97.3	5,905	120.4

(注) 保険料等収入の個人保険分野は個人保険と個人年金保険、団体保険分野は団体保険と団体年金保険の合計額を、それぞれ記載しています。

【金融機関による保険販売の状況】(フコクしんらい生命実績)

(単位: 件、億円、%)

	平成26年度		平成27年度	
		前年度比		前年度比
新契約件数	52,465	123.8	58,063	110.7
保険料 ※	1,355	143.6	1,497	110.5

※平準払契約については初回保険料の合計額を記載

資産運用関係収支

(富国生命単体) (単位: 億円、%)

	平成26年度		平成27年度	
		前年度比		前年度比
資産運用収益	2,018	110.5	1,866	92.4
うち利息及び配当金等収入	1,367	108.0	1,373	100.5
資産運用費用	357	71.4	455	127.5
資産運用関係収支	1,661	125.3	1,411	84.9
特別勘定資産運用損益	118	113.9	△23	-

基礎利益

(富国生命単体) (単位: 億円)

	平成26年度	平成27年度
基礎利益 A	931	923
費差	△23	△43
危険差	745	745
利差	209	221
キャピタル損益 B	358	92
臨時損益 C	△321	△412
経常利益 A+B+C	968	603

(富国生命、フコクしんらい生命合算)

(単位: 億円)

	平成26年度	平成27年度
基礎利益	959	948

(ご参考) 主要業績④

資産・健全性の状況

資産の構成

(富国生命単体)

(単位: 億円、%)

区 分	平成26年度末		平成27年度末	
	金額	占率	金額	占率
総 資 産	66,119		64,898	
うち一般勘定資産	65,302	100.0	64,107	100.0
うち 公 社 債	28,561	43.7	26,591	41.5
うち 株 式	6,410	9.8	5,703	8.9
うち 外国証券	15,837	24.3	17,000	26.5
うち 貸 付 金	7,639	11.7	6,936	10.8

含み損益の状況(一般勘定)

(富国生命単体)

(単位: 億円)

区 分	平成26年度末	平成27年度末
	差 損 益	差 損 益
有 価 証 券 合 計	8,553	8,433
うち 公 社 債	3,273	4,579
うち 株 式	3,176	2,372
うち 外国証券	1,895	1,342
不 動 産 (土地・借地権)	1,030	1,085
合 計	9,583	9,518

健全性を示す指標

(富国生命単体)

(単位: 億円)

項 目	平成26年度末	平成27年度末
ソルベンシー・マージン総額 (A)	13,972	13,745
リスクの合計額 (B)	2,389	2,079
ソルベンシー・マージン比率 $\frac{(A)}{(1/2) \times (B)} \times 100$	1,169.3%	1,321.8%

(単位: 億円)

	平成26年度末	平成27年度末
実 質 純 資 産 額	16,072	16,789
対一般勘定資産比率	24.6%	26.2%

(連結ベース)

(単位: 億円)

項 目	平成26年度末	平成27年度末
ソルベンシー・マージン総額 (A)	14,416	14,176
リスクの合計額 (B)	2,411	2,113
ソルベンシー・マージン比率 $\frac{(A)}{(1/2) \times (B)} \times 100$	1,195.7%	1,341.5%

(単位: 億円)

	平成26年度末	平成27年度末
実 質 純 資 産 額	17,691	19,286